

大牟田・荒尾清掃施設組合

「循環型社会形成推進地域計画」について

令和3年7月30日

大牟田・荒尾清掃施設組合

一般廃棄物処理施設整備検討委員会(第1回)

説明資料

循環型社会形成推進地域計画

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

福岡県大牟田市 熊本県荒尾市

面積 138.82km² (2市の合計)

人口 166,202人 (2市の合計)

(令和元年10月1日現在)

市町村名	大牟田市	荒尾市	計
面積(km ²)	81.45	57.37	138.82
人口(人)	113,880	52,322	166,202
(人口比)	(68.52%)	(31.48%)	(100%)

循環型社会形成推進地域計画

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

大牟田市と荒尾市の生活系ごみの処理量（令和元年度）（単位：トン/年）

	大牟田市	荒尾市	計
総ごみ処理量	38,002	16,743	54,745
うち、燃えるごみ処理量	32,520	13,346	45,866
うち、燃えないごみ処理量	1,577	670	2,247
うち、リサイクル処理量	3,905	2,727	6,632
うち、その他の処理量	29	—	29

※ ごみ処理量は、生活系ごみ（一般家庭から排出されるごみ）と事業系ごみ（事業に伴い排出されるごみのうち、生活系ごみと同様に処理を行うごみ）をあわせたごみの総量を示します。

循環型社会形成推進地域計画

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

大牟田市と荒尾市の生活系ごみの処理量（令和10年度）（単位：トン/年）

	大牟田市	荒尾市	計
総ごみ処理量	32,969	14,265	47,234
うち、燃えるごみ処理量	26,597	11,127	37,724
うち、燃えないごみ処理量	1,188	471	1,659
うち、リサイクル処理量	5,184	2,667	7,851
うち、その他の処理量	26	—	26

※ ごみ処理量は、生活系ごみ（一般家庭から排出されるごみ）と事業系ごみ（事業に伴い排出されるごみのうち、生活系ごみと同様に処理を行うごみ）をあわせたごみの総量を示します。

施設規模(処理能力)の設定

大牟田市と荒尾市のごみ処理基本計画で

①ごみの資源化・減量化に関する施策の実施



②計画目標年度時点(令和10年度)における
ごみ処理見込量への反映

⇒ 直近のごみ処理量を基に精査を行う

循環型社会形成推進地域計画

3 施策の内容

(1)発生抑制、再使用、資源化の推進

○大牟田市

食品ロスの削減、生ごみの減量化、リユースの活性化、ごみダイエットの推進、多量排出事業者等の指導啓発の強化など

○荒尾市

ごみ処理の有料化、環境教育・普及啓発・助成、マイバッグ運動・レジ袋対策、みどりのごみ及び木くず対策など

循環型社会形成推進地域計画

3 施策の内容

(2) 処理体制

◇燃えるごみ

新施設を整備し、高効率のエネルギー回収を行う。

◇燃えないごみ、大型ごみ、資源物

大牟田市リサイクルプラザは老朽化が進行しており、適正な維持管理、安定稼働の継続により、**長寿命化・延命化**を進める。

◇事業系ごみ

事業者に対する指導により、事業系ごみの分別の徹底と減量化を推進。

◇産業廃棄物

指導強化、啓発等によりごみの排出抑制を推進。

循環型社会形成推進地域計画

3 施策の内容

(3) 処理施設等の整備

施設種類	処理能力	設置場所	事業期間
エネルギー回収型廃棄物処理施設	検討中	検討中	R6～R9

(4) 施設整備に関する計画支援事業

事業名	事業内容	事業期間
エネルギー回収型廃棄物処理施設 整備事業に係る計画支援事業	施設整備基本計画策定	R3
	測量・地質調査等	R3
	生活環境影響調査	R4～R5
	基本設計	R4～R5

循環型社会形成推進地域計画

3 施策の内容

(5) その他の施策

◇廃家電、小型家電のリサイクルに関する普及・啓発

◇不法投棄防止対策

◇災害時の廃棄物処理に関する事項

※大規模災害時に発生する大量の廃棄物については、処理の停滞によって、復旧・復興が大幅に遅れることとなる。

両市の「災害廃棄物処理計画」に基づき、災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理する。

4 計画のフォローアップと事後評価

計画の進捗状況を把握、結果の公表、見直し等を適宜実施。

循環型社会形成推進地域計画

○新ごみ処理施設の概要

事業主体	大牟田・荒尾清掃施設組合
工期	令和6年度～令和9年度 (令和10年度供用開始)
施設規模	検討中
形式及び処理方式	検討中 処理能力 ●●●t/日 (●●●t/日 × 炉)
余熱利用の計画	検討中 ・ 発電の有無(発電効率●●%) ・ 熱回収の有無(熱回収率●●%)

○その他検討事項

- ・ 大規模災害への備え（災害廃棄物処理、防災拠点としての役割など）
- ・ 脱炭素（カーボンニュートラル）への対応
- ・ 地域振興、環境学習
- ・ ごみの発生抑制

など